

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

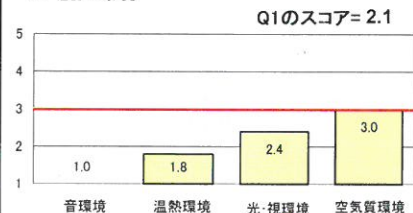
1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)株式会社城洋 鳥取工場新築	階数	地上1F
建設地	鳥取県鳥取市河原町山手笹谷上分	構造	S造
用途地域	都市計画区域区域区分未設定都市	平均居住人員	6人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年8月18日
敷地面積	12,520 m ²	作成者	近藤 勝彦
建築面積	2,735 m ²	確認日	2018年8月18日
延床面積	2,735 m ²	確認者	近藤 勝彦



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境



Q2 サービス性能

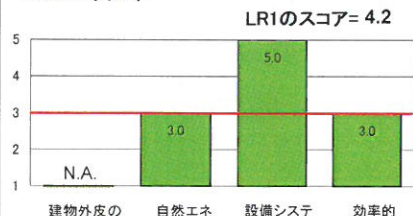


Q3 室外環境 (敷地内)

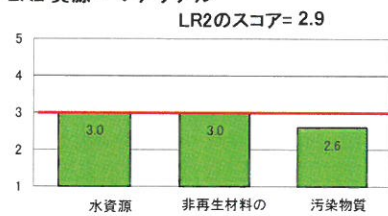


LR 環境負荷低減性

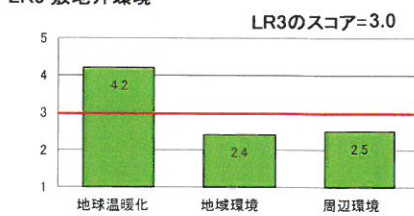
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

可能な限り現状の緑地(法面)を残し近隣の工場と色彩・色調を合わせる計画とした。

その他

Q1 室内環境

航空機部品の製造工場であるが空調設備を設け働く人の環境に考慮した。

Q2 サービス性能

工場内の天井高を平均で9800以上とし開放的な空間とし生産設備の更新に考慮し機械の搬入が容易に行う事が出来る計画としている。

Q3 室外環境 (敷地内)

敷地内の緑化を外構面積の13.48%を確保している。
(敷地面積12519.82㎡-建築面積2735.40㎡=外構面積9784.42㎡) によって緑地面積1319.00㎡/外構面積9784.42=13.48%)

LR1 エネルギー

将来、自然エネルギー(太陽光)を採用出来る様に計画している。

LR2 資源・マテリアル

可能な限り有害物質を含まない建築材料を採用する様にした。

LR3 敷地外環境

敷地内に可能な限り外灯を設けない計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される